



通常使用されない材も選別・加工されることで、立派な「薪」に生まれ変わります。

## これまで見過ぎてきた 村の「宝物」を見つめ直し 地球のため未来のために活用

小川村では平成21年、化石燃料の使用量を削減し、地域に豊富にあつて環境に負荷の少ない「新エネルギー」への転換と活用を積極的に進め、地球温暖化防止とあわせて地域振興をはかるための基本方針「**小川村地域新エネルギービジョン**」を策定しました。総面積の約7割が山林の小川村。これまで見過ぎてきた「森の恵み」を見直し、地域が動くことで森林整備を加速させ、「木質バイオマス」という循環する新エネルギーを最大限に活用する仕組みをつくりました。さらに、化石燃料を利用してきた従来の村内施設の設備に「木質バイオマス燃料」を利用する機器を導入することで、新エネルギーのさらなる活用を進めています。

また、小川村では木質燃料ストーブの導入を促進しており、役場等公共施設への薪ストーブの設置、住民への購入補助金制度も実施しています。



小川村民の福利厚生のためにつくられた温浴施設。  
お湯を沸かすためのエネルギーに木質バイオマス燃料を活用しています。





搬出のための技術を習得する研修を実施。



「C材」と呼ばれる間伐材。通常は山中に置き去りでただ腐敗するだけですが、搬出することによって有効活用されます。

木質バイオマス燃料のボイラー。  
薪で焚いたお風呂は、いつまでも身体がぽかぽか。

## 「おがわ森の恵みプロジェクト」

山に置き去りになっている林地残材（「C材」と呼ばれ、大きく曲がったりして建築用材などに利用できない、通常林地に放置される材）を有効活用するため、個人や事業体で間伐した材を、1トン4,000円で「農林公社みらい」が買い取ります。また、林地残材の搬出に必要な技術を習得する研修会を開催するなど人材を育成し、林業で経営が成り立つ環境を整備します。

## 「農林公社みらい」設立

小川村、JA、森林組合が出資し、平成23年に設立した一般財団法人。民間から買い取った間伐材を選別して加工し、薪として販売しています。また、貸出用の薪割機や林業機械などの管理の他、農作業の受託事業の展開や堆肥センター、農産物加工施設などの管理運営を受託しています。

## 小川の湯 薪ボイラー設置

村民の福利厚生のための温浴施設「小川の湯」では、これまで使用していた化石燃料を「木質バイオマス燃料」に転換。ボイラー施設を更新し、公社が供給する木質バイオマス燃料でお湯を沸かすシステムに変更しました。これにより、CO<sub>2</sub>の排出の削減に努めています。

## 自治体 INFORMATION

### 小川村

長野市と白馬村の中間に位置する小川村。村内各所から雄大な北アルプス連峰を眺めることができます。「日本で最も美しい村連合」に加盟し「にほんの里100選」にも選定されるなど、景観の保全に積極的に取り組んでいます。

「日本で最も美しい村連合」に加盟する小川村。  
総面積の約7割が山林です。

住所 〒381-3302  
上水内郡小川村大字高府 8800-8  
TEL 026-269-2323  
FAX 026-269-3578  
HP <http://www.vill.logawa.nagano.jp/>

## ～ 「ながの」の未来にむけて、今できること ～

「ながのSDGs information」では、長野地域連携中枢都市圏9市町村（長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村・信濃町・小川村・飯綱町）にある企業や団体のSDGsに関する取組を紹介しています。圏域間のパートナーシップや取組を通して、持続可能なまちづくりを推進していきます。

他の記事は  
こちら



\*長野市は、「SDGs未来都市」に認定されています。  
「環境共生都市『ながの』の実現」を目指して活動に取り組んでいます。  
…「SDGs未来都市」とはSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市として、国（内閣府）が選定するものです。

詳細ページは  
こちら



<発行> 長野地域連携中枢都市圏 事務局  
(長野市企画政策部 企画課)  
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地  
TEL:026-224-5010 FAX:026-224-5103